

第1回市民ワークショップの結果（令和元年9月26日）

ワークショップで出てきたキーワード

	A班【班としての検討キーワード】	B班【班としての検討キーワード】	C班【班としての検討キーワード】
	<ul style="list-style-type: none"> 市民が集まる 観光客も楽しめる ハイウェイオアシス、子どもの国に来た観光客を中心部へ呼び込む 	<ul style="list-style-type: none"> 居場所づくり 健康寿命 砂川を知ってもらう 情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 一緒に集まる場 地域との連携 起点となる場 交流する場
フリースペース 広場・ベース	<ul style="list-style-type: none"> 景観 <p>高校生、近くに住む方、主婦、高齢者 など</p> <p>居場所づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体づくりができる施設、運動ができて、喋れる 待合い機能 子どもの遊び場 <p>健康寿命</p> <p>子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 若者がやりたいことができる場所 運動施設⇔医療と連携(予防スペース)
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 観光情報の発信(SNS等) 	<ul style="list-style-type: none"> 大型スクリーン(一緒に集まる場、国道側にアピール、まちに音があると楽しい) 情報発信施設の設置(ラジオ局、災害時) 	
飲食店舗	<ul style="list-style-type: none"> カフェ(気軽に行ける、お喋り、勉強できる、ブックカフェ、若い人が入りやすい、観光客向けか市民向けかで変わってくる) 働く人向けのランチ 24hやっている飲食店 	<ul style="list-style-type: none"> レストラン(砂川名物が食べられる※ポークチャップ、玉ねぎ・トマト 等) 	<ul style="list-style-type: none"> 日替わり 高校生がつくる食堂 <p>働く場とカフェは繋がる</p>
物販店舗	<ul style="list-style-type: none"> スイーツロードショップ(地域との連携、観光客が集まる、アンテナショップ的位置づけで各店舗に足を運んでもらう、店舗にしか無い商品、味見セット) <p>観光客も楽しめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅のようなもの(ハイウェイオアシスと共存、お土産) <p>砂川を知ってもらう</p>	
はたらく場	<ul style="list-style-type: none"> シェアオフィス/コワーキングスペース(Wi-Fi) チャレンジショップ 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ まちなかに行く理由になる <p>連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 移住者/フリーランス(生活の場、起点となる場)
(滞在・宿泊)観光客向け	<ul style="list-style-type: none"> ゲストハウス(宿泊費が安い) シェアサイクル 歩いていて楽しくなる通り 温泉 		<ul style="list-style-type: none"> ライダーハウス
その他	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて、変えられる施設。車が入りやすい、駐車しやすい。バリアフリー。 		